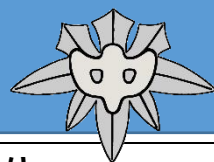


安中スタイル 2023

～考えを伝え合い、共に深め合う授業の流れ～



	生徒の活動と思考の流れ	教師の手だて・関わり
授業準備・授業構想	<ul style="list-style-type: none"> 授業のために調べる 教材や資料を読む 	<p>視点① 付けたい力を明確にした授業構想の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元で付けたい力を明確にする。(学習指導要領解説) ゴールから逆算し、本時のねらいを設定する。 本時の「おおむね満足できる状況」(B) 規準を明確にする。 →目標を達成した状態を生徒の姿で具体的にイメージする。 「努力を要する」状況(C)への手立てを準備する。
つかむ	<p>これまでの学習を振り返る。</p> <p>課題</p> <p>1 学習課題を把握する</p> <ul style="list-style-type: none"> 主体的に問いをもち、学習の見通しをもつ。 「考えたい」「解決したい」「やってみたい」 「えっ?」「本当に?」 	<ul style="list-style-type: none"> 既習事項の復習を行う。 前時の振り返りを行う。 <p>1 学習課題提示(学習意欲を高める)</p> <ul style="list-style-type: none"> 本時のねらいの達成につながる、必然性のある学習課題を設定する。 生徒が主体的に取り組みたくなるような課題提示の仕方、導入を工夫する。 ICTを効果的に活用する。
<p>生徒とゴールの姿を共有する</p>		
考える・深める	<p>2 自分の考えをもつ</p> <ul style="list-style-type: none"> 課題に個別で取り組み、自分の考えを持つ。 「自分は…」「自分だったら…」 できるところまで、自分の力でやってみる。 <p>3 自分の考えを伝え、仲間の考えを聴いて深める</p> <ul style="list-style-type: none"> 根拠や理由をもとに自分の考えを交流する。 仲間の考えを聴き、自分の考えを広めたり深めたりする。(共通点や相違点などに着目する) 「〇〇さんと比べると」「なぜそう考えたの?」「つまり…なんだね」「考えが変わった」 	<p>2 自分の考えをもつ場の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> 考える視点を明確に示す。 個人の方でじっくりと考えさせ、書く時間を確保する。 教師は生徒の思考を妨げないように、話しすぎない。 考えを持ってない生徒への手立てを準備する。 <p>3 思考を広げ・深める対話的な学び合い</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の考えを表現し、仲間の考えから学ぶ活動を工夫する。 (キーワード、言葉、図、式、表、グラフなど教科の特性を生かす) →根拠や理由をもとに考えを伝え合えるよう工夫する。 →思考ツールの利用やワークショップ形式など交流方法を工夫する。 目標達成に繋がる学習隊形の工夫を行う。 ICTを効果的に活用する。


学びのみとり



学びのみとり



<ul style="list-style-type: none"> ・仲間の考えを生かして自己の学びを深める。 ・新たな課題に気づく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学びを深めるためのコーディネートを工夫する。 <ul style="list-style-type: none"> →生徒の反応を類型化し、意図的指名につなげる。 →発表の羅列にならないように発言をつなぎ深める。 <ul style="list-style-type: none"> (比較・焦点化・根拠の明確化・類推など) →思考を深める問い返しや思考を揺さぶるしかけを工夫する。 →誤答を生かす工夫をする。 →一人一人の考えを把握し価値づける。 ・個に戻って思考の変容を自覚させる。
--	---

<p style="text-align: center;">視点③ 学びを自覚させ、次につなげる振り返る活動の工夫</p> <p>振り返る</p> <p>まとめ</p> <p>4 まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習課題に対して学んだことを自分の言葉でまとめる。 ・今日学んだことがわかる。 ・「できた」ことを実感する。 ・新たな課題に気づく。 <p>振り返り</p> <p>5 振り返る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適用題や練習問題を解くことで、本時の学習内容を定着させる。(個に戻る活動) ・何を学び、何が分かったのかを振り返り、ノートやワークシートに書く。(なるべく自分の言葉で)「わかった」「こうやったからできた」「こんな力が付いた」 ・自分の成長を自覚し、次への課題を見いだす。「次はこんなことを考えたい」 ・自分の考えが授業前と比べて、どのように変容したのかを振り返る。「前は／今までは…今日は／最後には…」 ・自己評価や相互評価を行う。 	<p>4 まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習課題に正合したまとめを行う。 <ul style="list-style-type: none"> →まとめは板書された内容や生徒の言葉を生かして行う。 →ねらいの達成に必要な言葉を引き出してまとめる <p>5 振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標達成につなげるための個に戻る活動を行う。(教科の特性を踏まえる) <ul style="list-style-type: none"> →どのような姿であればよいのか具体的なイメージを持つ(適用題の解答例、記述例、入れるべきキーワードなど) ・到達状況を見取り、次の指導に生かす。 <ul style="list-style-type: none"> →「できているか」「わかっているか」を確認する。 ・一人一人の考えを再構築させる活動にする。 ・自己の変容を自覚させ、達成感と次への課題意識を持たせる。 <ul style="list-style-type: none"> →目標の観点に合わせて記述等の視点を与える。 <ul style="list-style-type: none"> -設定した視点で、どのような記述があればよいのか具体的なイメージを持つ。 -毎回記述にこだわらず、単元・題材を見通して軽重をつける。 <div style="text-align: right;">  </div>
---	---

<p>復習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業での学びを家庭学習に生かす。本時の学習内容をワーク等で復習する <p>学習評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小テスト、単元テスト、定期テストにつなげる ・学習内容を計画的に、くり返し復習する 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での学びを家庭学習に生かす。(家庭学習課題用黒板に記入する) ・評価を記録に残す／評価を次の指導に生かす。 ・振り返りでの目標達成の見取りを次に生かす。 ・単元テスト、定期テストにつなげる。
--	---